

小學校から幼稚園への希望

今や幼稚園の保育修了期に當つて、小學校への入學といふことは幼稚園の當面の問題となつて居ります。此の時、小學校側からの御注意を聞くことは、いろいろの意味に於て最必要のことと思ひます。すなはち左の三つの項目を以て、左の方々のお話を伺ふことを得ましたことは、編者の最も幸とし感謝する處であります。

第一項。 幼稚園を経て入學し來る幼児に就ての感想。

第二項。 小學校の立場より幼稚園教育に對する希望の條々。

第三項。 殊に新に小學校に入らんとする幼児に對して、幼稚園が如何なる準備的注意を爲すべきか。

東京市常盤尋常小學校長 前田捨松

〔第一項〕

今日まで私の經驗した處によると、幼稚園から來た子供は、家庭から直接に來た子供と比較して、よほど取扱ひやすいやうです。入學の當初から非常に元氣で、愉快さうで、大勢の中に立ちまはつても恥にかむ様子が更になくて頗る活潑です。之

に反して家庭から直接に來る子供はどことなく世間なれないやうで、友達に對しても先生に對しても遠慮して居るやうに見えます。それですから混合して組をこしらへる時などに幼稚園から來た子供は家庭から直接に來る子供のリーダーとなつて之を學校生活に導くといふやうな効果がありま

す。學課でいふと唱歌遊戯、手工などがよほど進歩して居ります、殊に第一學期に其進歩して居る點が著しくあらはれます。しかし一面に於ては、幼稚園では子供を日毎にたのしく遊ばしめるといふ事を大體の主意としてやつて居るものですから急に學校生活にはいつて、先生の取扱ひが保姆のそれと違ふので、子供も先生も一寸困ると云ふやうな事もあるやうです、つまり幼稚園で遊ぶ主義で多少保姆に甘えて居る爲めに、家庭から直に小學校へはいつた子供のやうに、よく物に注意深くやつて居るといふ事がなく、やゝ放縱なかたむきがあるのです、學校を一寸遊び場所のやうに考へて居るのです。それで多數に幼稚園から來た子供のある組を作つたり、または幼稚園からの子供のみの組を作つたりしますと、どうも教場で不注意であつたりして、遊びをする上にもしつけをする上にも先生が骨の折れる事があります。からだなどは運動にもよく慣れて居るので概してよいやう

である。學課の出來もはじめの中は幼稚園から來たものゝ方がよい。しかしこれが小學校卒業までいつも優秀であるかと云ふと、それは時としては常に優秀なこともあり、また時としては家庭から直にはいつた子供の方が良好な事もあります。統計を取つて見てもいつもよいと定めるわけにはありません。かりに幼稚園から來た子供の成績がいつもよいとしても、それが果して幼稚園のみの効果かどうかは直に明言する事は難かしい事だと思ひます。實際の處幼稚園に入れるのは多くよい家庭なのであつて、家庭教育にもよく注意がといて居るし、本來父母の頭腦が勝れて居るので其子供の素質がよいといふ事もありません。また幼稚園の保育をすまじさへすれば、其子供が小學、中學、大學までも其効果によつて非常に勝れるといふ事は必ずしも認める事は出來なからうと思はれます。しかし幼稚園に對してそれほどの期待をもたなくてもよからうと思ふ。それ故に幼稚園の

子供が小學校へ來る時にからだも比較的によく、元氣であつて、學校生活をしてゆく上に於ても、家庭から直接に來た子供の導き手となり。また學業を受けてゆく上に於ても大變に都合がよいといふ點に於て、幼稚園の效果は認める事が出來やうと思はれます。なほ綿密に云へば幼稚園に於てはいろ／＼の知識の開發に注意して居るのですから種々の智識の萌芽が子供の頭に出來て來るのですから幼稚園の效果は決して否定する事は出來ないと思はれます。世間のある一部分の人が稱ふるが如き人身の發育を妨げるといふやうな論は無論斷然之を否定して差支ないと思はれます。

〔第二項〕

第一に述べたやうな次第ですから、幼稚園から來た子供が小學校に於て取扱ひに困る點即ちしつけの上に放縱に陥りやすい、従つてある場合は教授に不注意である、教授を受けても遊び半分のやうで出來てもよし出來なくてもよしといふやうな

有様である。さういふ點だけは幼稚園に於て注意しておもらいしたいと思ひます。幼稚園に於て、多少小學校へはいつて困るだらうといふやうな點に氣をつけて、いくらかづゝ小學校へ近づけるやうなしつけをする事が大切な事ではないかと思ひます。それから之は前にもよく云つた事もありますが、幼稚園と小學校との双方が相近づいて、しつけの上などに出來得るだけ聯絡を取るといふ事がまた大切な事と思ひます。殊に幼稚園の併置してある場合の如き小學校からも幼稚園の有様に注意し、幼稚園の方からは小學校の教育の様子を承知して、双方から歩みあつてゆくといふ事が大切であらうと思はれます、其方法としては双方の參觀もよからうし打ち合せ會をひらくといふやうな事も必要でありませう。たとへば唱歌にしても幼稚園であまり高尚なのを教へておくと子供が小學校へはいつてから、そんな事は幼稚園でならびましたといふやうな顔をして存外熱心にならぬやう

な處がありますから、双方の打合せは大切な事です、幼稚園のがはから云へば子供が小學校へはいつた時にその様子を見ておいてもらいたいし、小

學校の方からは幼稚園の學年の終りに參觀しておいてもらひたいと思つて居ります。それから體育上に關しても幼稚園の遊戯法體育法を十分に系統的に研究してもらひたいものと思つて居ります。

小學校の方には體操にも遊戯にも大抵一定のきまりがありますからそれに關係をつけるやうにしてもらひたいと思ひます。幼稚園が獨立したものと考へますと、幼稚園だけで随分突飛なやり方をして居る事があります。それで、たとへばブランコはいくつかからのらせるとか言ふ風に理想的の案がほしいと思ひます。私は幼稚園教育は主として體育としつけといふ事にあると思つて居る。それから極めて幼稚な知識の基礎となるものを開發するのにあると思つて居ります。故に體育上について小學校と聯絡をつけるやうに、また智育の方面

にもいろいろ研究して、幼稚園で餘計の事を教へ過ぎたりする事のないやうにしておもらひしたいものと思つて居ります。

【第三項】

此問題は前項に於て既に答へてしまつたやうなものでありますがなほ一言加へますと、第三學期即ち一月から三月までの間でもいくらか園兒の取扱ひをかへて小學校へはいつても差支ないやうに、たとへば机の排置にしてもこれまで圓く並んでゐたものを小學校のやうに並べかへるとか、何か答へるのにも、今までは一齊にみんなが答へて居たのを一人々々名を指して答へさせるとか、整列して教室にはいるとか、言語動作なども漸次小學校風になほしてもらふやうにすると小學校の方で大變に都合がよいと思ひます。かういふ風に致させますと第一第二にあげた缺點が取りのけられて、幼稚園から來た子供の短所がなくなつて長所のみがあらはれて來るわけになります。(文責記者)